

# 2020年度事業報告書

任意団体INOLIN JAPAN（いのりんジャパン）

## 1.事業の成果

コロナ渦の中で従来の活動が困難な状況からの年度だったが新入園・新入学のこどもたちのためにハンドメイド支援を実施

1月新見市の床下浸水世帯の泥掻き、床下環境改善支援、2月には2019年9月に発生した新見市の土砂を河川から除去していく新見クリーン作戦を実施、50名以上の参加、約20トンの土砂を除去することが出来た。そのことにより雨の不安を流域住民から軽減し、雨による河川増水リスクを軽減することが出来た。

2020年度の新しい取り組みとして環境衛生支援が始まり、コロナ渦の中、初期段階で不足していたマスクを手作りで制作し、配布、実費配布、オフィスカリトス様との協力で次亜塩素酸水の実費配布を行う。トータルケアセンター様より医療用マスクをご支援いただき真備町内の医療・福祉施設に配布。またNPO法人GiveStrength様との連携によりインフルエンザやコロナウィルスに効果の認められるウィルス抑制エアコンフィルターNEOZONEの販売を開始するなど真備だけではなく、岡山、倉敷を中心とした環境衛生支援をすることが出来た。実施する中で肌が敏感で不織布のマスクが使えない方、アルコールで肌荒れをする方などからの感謝の声を多くいただいた。

7月に発生した九州を中心とした豪雨災害に関連して古タオルを初期段階で集めて発送する物資支援を実施、約36000枚の古タオルと飲料、食料、衛生用品などを横田運送様、智商運輸様協力の元、九州キリスト災害支援センター様、くまもと友救の会様、九州内の6つのボランティアセンター様等におつなぎすることができた。資機材提供、家電収集プロジェクト、球磨村の小学生を対象に倉敷青年会議所様と連携して実施した7月豪雨被災地のひとつ球磨村の小学生にプレゼントを届ける企画「輝きMORIMORI」に加えて現地に何度も足を運び、現地での作業、雑巾の支援も実施、支援が行き届いていない地域の調査などを緊急支援ネットワーク熊本様と連携して行う。この中でコロナ渦の中でも情報収集が出来るようにスプレッドシートを活用したオンラインでリアルタイムに被災地の地町村の情報を集めることを可能にし実施し九州、島根県の情報を把握することが出来た。

この取り組みにより直接現地に行かなくても現地の方に直接現場状況をお聞きすることが出来、情報をまとめる仕組みが構築出来たので今後の活動等の費用や時間を大きく節約することが可能となった。

7月豪雨支援の中から新しくスタートした取り組みとしてアット笠岡様、有限会社MSM様との連携にて「古タオルストックプロジェクト」倉敷市学童保育連絡協議会様、サムエル国際キリスト教学園様との連携で「アルミ缶集め隊」を開始、現在も広く協力事業所、団体を求めている。7月豪雨に続いて発生した東北の豪雨に際し、迅速に対応し2000枚の古タオルをおつなぎすることができた。

真備内においてはおひさまマルシェに定期的に参加、ハッピーまび様と連携して地域住民の方との交流の場となった。

晴れの国たすけあいプロジェクト様と連携し費用が補助されないケースの引っ越し案件などを支援した。

春に予定されていた第3回KIZUNAフェスタは新型コロナのため延期となるが駐車場予定地となっていた場所の草刈り、木の伐採、災害ゴミ撤去を行う。

球磨川流域の災害復興の状況と真備での経験等から床下環境改善のために今できることはなにか？というところから真備の竹林問題と被災地の環境改善をあわせた取り組みを開始。真備の復興に向けての産業や事業につながればとチーム山本様、竹あかり様、NPO法人こもれびの里様などの連携団体と協力し「竹」の問題に取り組む中で背景にある災害からの復興、住民の方の心情に深く寄り添うことが出来た。

岡山市内にてこどもの居場所サポート隊様と連携して「めざせ☆キッズ防災士！」を実施、大元学区のこども12名を対象に防災教育をいのちを守ることをテーマに分かりやすく伝えた。アンケート結果も非常に効果が実感出来るものだった。

## 2. 事業の実施に関する事項（※は他団体と費用分担をして開催している事業）

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数 （名簿に 登録のあ る者の み）	ボラン ティア参 加数（連 携団体含 む）	受益対象 者の範囲 及び人数	支出額概 算 （人件費 は除く） （千円）
※新見市 水害支援	床下・用 水路・側 溝などの 清掃等	1月	新見市	10人	8人	高尾地域 約10世帯	140
※ハンド メイド支 援	新入園・ 新入学の こどもた ちのため のハンド メイド支 援	1～3月	真備町	2人	4人	真備町の 新入園・ 新入学を 迎えるこ どもを持 つ世帯	10
新見ク リーン作 戦	水害によ り河川に 流入した 土石流に よる堆積 物の除去	2月	新見市	10	約40人	実施河川 流域世帯 約300世 帯	20
防災座談 会	災害時の 非常食体 験及び防 災口座	2月	真備町	4人	2人	12人	10
環境衛生 支援	手作りマ スク・医 療用マス ク・次亜 塩素酸水 支援及び NEOZON Eの販売	1～12月	岡山市・ 倉敷市を 中心に関 東方面ま で含む	4人	0人	真備町内 保育園、 幼稚園、 医療・福 祉施設及 び岡山倉 敷を中心 とした住 民	200
※7月豪 雨支援	古タオル 及び物資 緊急支	7～12月	九州（特 に熊本） 中国・東	16人	約70人 提供：約 120個	九州全域 のボラン ティアセ	650

	援・作業 支援・調 査・資機 材支援		北（特に 山形）		人・団体 （あるく 分除く）	ンター・ 被災地住 民	
※家電収 集プロ ジェクト	岡山県で 家電を集 め熊本へ 支援	8-9月	岡山県→ 八代・人 吉	6人	6人	40点の家 電を八 代・人 吉・球磨 へ	150
※古タオ ルストッ クプロ ジェクト	古タオル を備蓄し 速やかに 届ける仕 組み作り	8～12月	岡山県・ 福山市	16人	30人	山形へ 2000枚  熊本5000 枚	10 （熊本分 は家電収 集に含 む）
アルミ缶 集め隊	アルミ缶 と古タオ ルを集め て頂く環 境教育支 援	9月～12 月	岡山市・ 倉敷市	3人	協力施設 3（うち1 つは倉敷 市内学童 施設）の 関係者	協力施設 3（うち1 つは倉敷 市内学童 施設）の 関係者	5
※おひさ まマル シェ	真備町内 で開催さ れるマル シェへの 参加	2－12月	真備町	7人	4人	参加者一 回あたり 約200人	20
※晴れの 国たすけ あいプロ ジェクト 連携	引っ越し 等住民の 方への支 援・会議 への参加	1～12月	倉敷市	7人	20人	15世帯	50
※竹林整 備	被災後自 力で維持 が困難に なってい る竹林の 整備	10～12月	真備町	9人	25人	6世帯 11反分（ 1反＝約 300坪）	200
※めざせ ☆キッズ 防災士！	実践的防 災口座及 び災害食 体験	12月	岡山市	7人	2人	12人	3

### 3. 受託した助成金

#### (1) ももたろう基金（みんなでつくる財団おかやま）

事業名：新見市の被災家屋作業・公共エリア復旧を促進する活動  
資機材消耗品・燃料代・人件費～10万円

#### (2) ももたろう基金【第10次助成】（みんなでつくる財団おかやま）

事業名：真備町のコミュニティ支援・子ども支援を通して町を活性化する活動  
人件費・燃料代・消耗品～30万円

#### (3) 赤い羽根災害ボランティアNPO活動募金

事業名：新見市水害を受けた家屋復旧及び地域コミュニティのための支援促進活動  
物品資材費・人件費・燃料代～50万円（2019年度内事業に対する実績分）

#### (4) 被災地の復興に向けた新たな仕組みづくり等活動助成事業（倉敷市社会福祉協議会） 資機材・燃料代～7万円

### 4. 2020年度連携・調整実績団体・企業（匿名希望は除く）※順不問・敬称略 倉敷市学童保育連絡協議会・倉敷市社会福祉協議会・倉敷市真備支所産業課

倉敷市真備町建設課・倉敷市一般廃棄物対策課・オリーブの会

倉敷市真備町緑化協会・新見市社会福祉協議会・公益社団法人倉敷青年会議所

一般社団法人ひとよし球磨青年会議所・岡山みらいライオンズクラブ

一般社団法人GiveStrength・国土交通省・手打ちうどんさるや・

公益財団法人みんなでつくる財団おかやま・横田運送有限会社・智商運輸

有限会社MSM・株式会社伊藤園倉敷支店・ホワイトサウンド with スタジオ

井原鉄道株式会社・株式会社タイペックス・災害支援ネットワークおかやま

真備洗浄@あらいぐま岡山・川辺復興プロジェクトあるく

緊急支援ネットワーク熊本・チーム山本・一般社団法人ぐるーん

認定NPO法人ペアレント・サポートすてっぷ・一般社団法人はれとこ

災害支援アット笠岡・災害NPO旅商人・災害支援団体かわず

NPO法人グリーンバード岡山チーム・災害支援ネットワークNPOかけはし

災害支援団体かわず・公益財団法人YMCAせとうち・epoおかやま笑顔プロジェクト

一般社団法人おいでんせえ岡山・真備再生ベース竹燈-たけあかり-

地域活性NPOきばいやんせ岡山・サンサポートオカヤマ・くまもと友救の会

め組JAPAN & HAPPY AMILE PROJECT・Team桃太郎・スマイリング

西日本豪雨災害 『大切なもの』 無償応急処置、出来る事を出来るだけチーム

NPO法人九州キリスト災害支援センター・薪割りプロジェクト

NPO法人オカヤマビューティサミット・国際協力NGOジョイセフ